

PTA会員各位

個人情報保護の観点により、ホームページ掲載に際して
スクールメールで配信した原本から、
個人名の部分を省いて再編集しております。
また、一部追記しておりますのでご了承ください。

令和4年7月7日

小平市立小平第五中学校
PTA 会長

第1回運営委員会だより

日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

第1回運営委員会がGoogle Meetにて、開催されました。

開催日：令和4年6月28日(火)

1. PTA会長挨拶

運営委員の皆様、そして校長先生をはじめ、五中の先生方、本日はお忙しい中、また大変暑い中運営委員会にご参加いただきありがとうございます。書面による総会だったこともあり、こうして皆さんの前で正式にご挨拶するのは初めてとなります。今年度の本部役員は7名です。会長を筆頭に普段はのんきにヘラヘラしている本部ですが、いざというときには皆様のお力になれるよう「アンテナは高く、フットワークは軽く、愛と人情は深く」でやっています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の役員によるPTA活動が始まって、2ヶ月ほど経ちました。少しずつ戻りつつある学校の教育活動に併せるように、PTAの活動もまた戻りつつあるかと思います。しかし、まったく元通りになるわけではないです。この2、3年で活動をいろいろブラッシュアップしてきた経緯を無駄にすることなく、むしろ新しくイノベーションする気概で取り組んでもらえたら幸いです。我々PTAの視線の先は常に五中の子どもたち、「今の」子どもたちです。そのことを胸に留め、1年間参画していただきたいと思います。

とはいえ、今年度役員になられた方の中には、くじによって渋々承諾してくださった方も少なくないと思います。また、先生方の中でもPTA活動に前向きに参加して下さっている方は果たして何人いるでしょうか。

本日後半でも触れますが、そうしたPTAの在り方を考え直す1年にもしていきたいと考えております。長くなりましたが、以上です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

2. 学校長挨拶

本日はお忙しい中貴重なお時間を頂きありがとうございます。コロナ感染により生徒たちの行事等、学校生活が制限されていたため、PTAに関しても制限下の活動とならざるを得ませんでした。おかげさまで今年度は5月の学校公開にはじまり、運動会も保護者の皆様に、観ていただく事ができました。運動会では学年別という今までとは異なった形での開催となりましたが、PTA役員のご協力のもと大変スムーズな行事運営となりました。この場を、お借りして改めて感謝申し上げます。コロナ渦でのPTA活動のもたらした恩恵があるとすれば、今までのPTA活動を見直し、不必要な活動が見えてきたことではないでしょうか。様々な行事が復活していく中で本当に必要なものを精査し、学校と保護者がお互いに「あって良かった」と感じられる活動にしていきたいと思っております。今年

度1年間よろしくお願いいたします。

また、本日は地域の「民生児童委員」との顔合わせ会が、この会議と並行してございます。何人かの職員も参加させていただいており、こちらのPTAの運営委員会に関しましては、副校長が参加し、私は大変申し訳ありませんが、このご挨拶のみで失礼させていただきます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

3. 各学年・主任挨拶

●教務主任・3学年

今年度、小平五中に赴任してまいりました。よろしくお願いいたします。私は教務主任も務めておりますが、第3学年に所属しております。本日、学年主任は民生児童委員会顔合わせに出席しておりますので、第3学年のお話の方も少しさせていただきます。教務として年間の行事や、時間割等の調整を行っております。まだまだ不慣れなところもありまして、PTAの役員の皆様にもご迷惑をかけていることを大変申し訳なく思っております。今後五中のことを把握して、少しでも力になれたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今年度は先ほど校長からもお話がありましたように学校公開を予定しております。数時間の予定ではありますが、PTAの皆様を中心に学校までお越しいただければと思います。運動会ではたくさんの保護者の方にご来校いただき、生徒もいきいきと活動する姿を観ることが出来てとても良かったなと思っております。3年生の事になりますが、先日保護者の方に対しての進路説明会を実施し、本日生徒向けの進路説明をオンラインで行いました。進路のことも考えながらも、コロナ禍により2年間中止になっていた修学旅行も9月に予定しております。今年度は行けそうなので準備もしております。そして期末考査も終わりまして、かなり忙しい中での1学期末を迎えております。残り1ヶ月の1学期ですが、この夏休み期間も利用し、各自が進路に対して真摯に向き合えるように我々第3学年の教員も生徒たちのお手伝いが出来ればと思っております。短いあいさつではございますが、どうぞ1年間よろしくお願いいたします。

●経営支援部主任・2学年

本日は先ほど話がありました通り第2学年学年主任が民生児童委員の会議に出席しておりますので、私が2年生の事もお話をさせていただきます。

まず、経営支援部では、主に次の内容を担当しております。

- ・学校だより・行事案内の配布
- ・ホームページ作成管理
- ・掲示物管理
- ・視聴覚機器管理
- ・学校情報システム管理
- ・給食数・出納管理
- ・学校支援ボランティア管理
- ・学習者用端末(タブレット)管理

特に、学習者用端末の活用につきましては、校内で検討を進め、教職員に対する研修の実施など、より効果的な活用が行えるよう推進してまいります。

また、先ほども話がありましたが、学校公開等を一部制限して公開していることから、保護者の皆様にはご不便をお掛けしております。本校ホームページでお子様の日々の学校生活の様子をお伝えしておりますので、ぜひご

覧ください。

次に2年生の様子です。4月当初はクラス替えで、落ち着かない場面もありましたが、期末テスト以降は落ち着いた学校生活になってきたと、感じております。今は生徒会の役員、あるいは学級委員を通じて、9月に行われます、校外学習、鎌倉学習の準備に取り組まれているところです。詳細に関しては7月の保護者会で、お話をさせていただきます。学級懇談会も同時に行われますので、その時にクラスの様子などお伝えできればと思います。

最後になりましたが、今年度も保護者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

●第1学年主任

1年生は中学校に入学して早3ヶ月が経とうとしています。小学校と異なり教科担任制になったことに戸惑ったり、学年ごとになりました運動会を楽しんだり、初めての定期テストを経験したりしました。定期テストに向けては自分なりの学習方法を見出そうと懸命に取り組む姿が印象的でした。今回のテストについては、本人やご家庭でも、結果が気になるところかも知れませんが、結果を振り返り、今後、日常の学習や次回のテストに向けて、どのように取り組んでいくかが最も大切になってきます。ぜひ、ご家庭でもアドバイスをよろしくお願いいたします。1年生、2年生のうちに、自分なりの学習ペースを身につけて、3年生になるときに、うまく進路に向けた学習体制に入れるよう試行錯誤してほしいと思っています。近年は、様々な学習の場がありますが、学校の学習が基本だということを忘れずに、学校での学習をおろそかにせず、基本となる土台を作してほしいです。

学年の雰囲気は明るく人なつっこい子が多い印象です。廊下を歩くと誰かしら「先生」と、声をかけてくれます。出身の小学校を問わず、距離が縮まった3ヶ月間だったと思います。ただし、先日の学級委員会でも、「はじめの頃の緊張感がなくなってきたよね」という意見が子どもたちから出ました。少し、我々教員の方も、子どもたちに様々な事を促していきたいなと思います。ご家庭におかれましても、1学期の振り返りを、話題にしていただけたらありがたいです。1年間よろしくお願いいたします。

●8組主任

4月、8組は、1年生9名、2年生9名、3年生1名の計19名でスタートとなりました。教員が4名中3名、新しいメンバーとなったことで、2・3年生は戸惑いも大きかったことと思います。しかし、一人一人が先輩としての意識を高め、新入生のことをよく気遣いながら学級づくりをスタートさせてくれました。

5月、運動会では、8組メンバーのみで100m走を競うこととなりましたが、ライバルを意識しながら練習し、本番への目標を立てられたことは、良い経験となりました。大縄跳びでは、入るタイミングがつかめない仲間に、リズムをとるためのかけ声や励ましの言葉をかけながら練習に励み、本番で最高記録を出すことができました。限られた時間ではありましたが、保護者の方々に直接勇姿を見ていただくことができ、本当に良かったです。

6月、家庭訪問・面談を通して、今年度の指導方針等について、ご家庭と情報を共有させていただきました。先週バスケットボール大会では、一方のチームは優勝、もう一方のチームも準優勝ができ、結果に結び付いた良い機会となりました。

7月、ブリヂストンチャレンジ株式会社への社会科見学を予定しています。また、3年生は9月の修学旅行に向けて、事前学習を始めています。

今年度は、様々な行事を通して学びの幅を広げることができそうで、嬉しい限りです。日々の健康管理を始め、保護者の方々の学校活動へのご協力や支えに、心から感謝申し上げます。今後とも、よろしくお願いいたします。

●進路指導主任

先日の第1回進路説明会にご出席いただいた3年生の保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。進路学習部では3年間を通じて、自己の生き方を考えることができる学習を、総合的な学習の時間等で行っていきたいと考えています。

進学に関して、今年度は都立高等学校入試でスピーキングテストの点数が加算されるという大きな変更点があります。そういった情報も含め、学校の情報を積極的に生徒自身が収集していけると、進路決定は円滑に進むと思います。1年間よろしくお願いいたします。

4. 地域教育コーディネーターご挨拶

皆様こんにちは。日頃よりPTAの皆様には、学校支援ボランティアにご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。また校長先生・副校長先生をはじめ教職員の皆様にもご尽力いただき感謝いたします。

今年度は新体制のもと、5月から図書室ボランティアや学校公開時の受付、学校花壇のお花植えなどのボランティア活動を行っております。

また、放課後学習教室も5月からスタートいたしました。本年度は子どもたちからの要望に応じて、プリント学習のみから、ワークなど自分たちが勉強したい教材を用いて学習できるようになりました。子どもたちの学習の幅が広がり、さらに積極的に学習に取り組む姿が見られております。指導員のボランティアさんからも「とてもよい雰囲気です」と、お声を頂いております。今後も引き続き先生方や地域の指導員、学生ボランティアの方と一緒に、子どもたちによりよい学習指導ができるように力を合わせて活動してまいります。

学校支援ボランティアは、地域と保護者の皆様のご協力で行っています。ボランティアは随時募集しておりますので、ご興味のある方やご協力いただける方はいつでもお気軽にご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。

5. 本部及び各委員の紹介

各委員会、運営委員の方のお名前を読み上げ、紹介しました。

6. 本部・各委員会の活動報告および活動予定について

内容につきましては、事前配信にて確認をお願いしました。

- ①本部 ②学級委員会 ③厚生委員会 ④行事委員会 ⑤広報/広報編集委員会 ⑥選考委員会
- ⑦校外委員会 ⑧バレーボールサークル ⑨卓球サークル

→挙手にて承認

7. 討議事項

(1) 「学年委員会」の名称について

① 「学年委員会」という名称の変更について

今回、保護者会の前に行う、保護者同士の集まりの名称を、これまでと同様に、引き継がれたまま「学年委員会」として案内しました。この名称だと、参加される方は、どういった会なのかをよく理解できないのではないかと、副校長先生からご指摘を受けたので、委員の中でも相談しました。できれば今後は、分かりやすい名称に変更したいと思っています。学級委員会の活動として行うので、各学年で違うのも分かりづらいので、統一した名称を検討したいと思います。3年間通して、保護者が集まる会の名称について1～3学年の学級委員会内で考えて引き継ぐようにしてもよろしいでしょうか。

② 今回使用した「学年委員会」という活動について、活動内容の見直し検討

改めて規約を読み直したところ、現在の活動しているものには、これにあてはまるものはありません。今後の活動として、ふさわしい内容に規約を見直していけたらと思います。

(補足)本部・会長から

「学年委員会」は規約内にも使われていて、今回2年学級委員会さんが企画されたことと名称は同じだが中身は違います。今後のことを各学級委員長さんが集まって検討される際には、規約の内容についても触れて議論を深めていただきたいと思います。そうして、もしも規約の内容を変えていくということであれば総会での決議が必要となること、ご承知おきください。

→今後検討していくことを挙手にて承認

(2) PTA の在り方について問題提起（本部 から）

※別添の「問題提起 0628」を併せてご覧ください。文頭の【】内の数字はスライドのページです。

- 【1】ご覧いただいたように、PTA の在り方を見直しませんか、といった趣旨の問題提起です。
- 【2】問題に感じていることはいろいろありますが、一言で言うと「全員強制参加」になってしまっている問題です。このことが、役員決めに無理矢理参加させられてしまったり、会費を強制的に徴収されたり、あるいは個人情報の管理等の問題に発展したりすることなど、いろいろな問題の引き金になっていると考えます。
- 【3】そこで、思い切って「全員が自動加入」を見直しませんか、ということです。昨今 PTA のこうした体制に関する問題はネットニュースでも話題になっています。少し違う色の話題ですが、東京都小学校 PTA 連合が全国の連盟から脱退した話は記憶に新しいですね。PTA ネットは反響がいいんでしょうね。
- 【4】話は戻しますが、つまり全員自動加入ではなく、「入りたい」という意思を示した人が参加する団体にしようってことです。PTA はあくまでもその学校の全ての子どもたちや会員のために活動する任意団体という位置付けだそうです。PTA に加入しなかったからといって、非加入の子だけが不利益を被るといったことは、PTA の活動としてあってはならないということです。
- 【5】この「PTA の在り方の見直し」は、今までにもきつと散々考えられてきたことと思いますが、その都度いろいろな心配事が生じてしまい、踏み出せてこれなかったと存じます。例えば一番の心配は、PTA に入る人が減るのではないかと、ってことです。人が減ると当然マンパワーが減ります。が、少ない人数でできることをやれば良いし、足りなくなったらその都度募集すればいいだけの話です。むしろ「役員はやらないけど、そういうときなら任せろ！」という人は少なくないと思います。
- 【6】また、同様に人が減れば会費も減ることが考えられます。でもこれも、ある分だけでなんとかしようって考えれば良いし、足りなければ募金です。
- 【7】他の学校との連携を心配される声もあるでしょう。でも特に問題ないです。他校も同じような悩みを抱えており、むしろ五中が先陣を切っています。
- 【8】また、任意参加にしたら、いつも同じ人が中心にいて、権力が集中してしまったりすると難しくなるという声もネットでありました。
- 【9】また、心配の声だけでなく、不満の声も挙がるのが予想されます。多く予想されるのはこの不満です。せっかく以前免責をとったのに意味ないのでは、というものです。心苦しいですが、時代の変化にそぐわないので、ご納得いただくしかないかなと。
- 【10】また、やって当たり前と思われる方もいるでしょう。しかし、私的にはこのページが一番言いたいことですが、家庭の困り感は家庭それぞれで、こうしたいろいろな家庭環境がある中で、自動参加させてまで全員一律に PTA 役員候補という義務を背負わせているのはいかがなものか、と思っています。もちろん特別な免除規定もあるにはあるのですが、その線引きや実際の効果も非常に曖昧です。その他の免責についても、選考委員会さんから疑問に思うところがある、といった声も上がっていると聞いております。
- 【11】もしも実現したら、つまり「自動参加制」ではなく「任意参加制」にしたら、多くの保護者が義務感から解放され、その分、子どもたちや学校側に前向きな良い目を向けられる余裕が生まれるのではないかと考えます。
- 【12】ここまでだいぶ辛辣なことを述べてきましたが、「PTA を無くそう」ってことは全然思いません。
- 【13】PTA は子どもたちのための団体ですが、会員の皆様の声に耳を寄せると、多くの方は「つながりができてよかった」と言います。
- 【14】しかし、誰もがその「つながり」を欲しているわけではないということも心に留めて置く必要があります。
- 【15】会員になると、委員の活動やサークル活動によって学校への行き来が多くなってつながりが増えます。しかし、忙しくて無理な人やスポーツが得意でない方も当然いますよね。
- 【16】あるいは、広報誌や会員向けの講座などで、いろいろな情報が手に入ることも PTA 会員のよさでしょうか。しかし、そうした資料を読む時間や講座に参加する時間が無いという人も多いと思います。

- 【17】PTA の保険の恩恵もあります。これについても全員が入らなくてもよい保険かもしれません。
- 【18】こちらは文字が多くて恐縮です。必ずしもそうとは限りませんが、個人でなしえないことを PTA として意見を通してもらえた、という事例もあるそうです。
- 【19】また、一般の会員ではなく役員になった場合の話もしておきます。役員になるとご存じの通り、なかなか大変です。しかしメリットもたくさんあります。
- 【20】今もそうですが、会議等に時間を割かれてしまいます。が、一般の会員以上に結束力ややりがいを感じられるようです。
- 【21】さらに、学校との折衝が増えるので、学校のことがよく分かるようになります。
- 【22】しかし、こうしたメリットは分かっている、やっぱりできない理由が人それぞれあるものです。
- 【23】だからこそ、今よりもっといい形があると思うので、PTA の在り方を考えていきたいと思っています。
- 【24】今回はあくまでも問題提起です。ここにいらっしゃる方々のご意見を今すぐ聞きたい気持ちもやまやまですが、時間の都合上、内容に関するご意見は、今は控えていただきます。
- 【25】今後会員全員から意見を募ろうと思いますので、そこで思いの丈を話していただければ幸いです。会員全員の声を聞き、じっくり検討していきたいです。そうした、今後のスケジュールの案がこの通りです。これについては「もっとこういう風に進めた方がよい」など、ぜひともこの後、ご意見いただければと思っています。
- 【26】長くなりましたが、以上となります。五中の子どもたち、保護者や教員のために、皆様の知恵をどうぞお貸してください。私からは以上です。

質疑応答

○上宿小学校は PTA をやってないと聞いた。ない場合の良い点・悪い点聞いてみたいです。

→上宿小は、数年前に PTA を無くす際に、すべての仕事を全員に分担しました。活動費が無くなったため、上宿祭りでの利益を活動費にあてました。上宿小は規模が小さいため、一人一役でできましたが、五中のように規模の大きい学校では、やらなくていい人が出てくるのではないかと、その点の話し合いが必要かと思います。やはり本部みたいに数人は置かないと運営が回らないと思います。上宿小では数人が中心となって一人ひとりに仕事の割り振りなど対応していきました。

運営委員会では左のようなご発言をいただきましたが、上宿小学校は元来 PTA ではなく、当初から青少対やクラス役員会が中心となり学校の諸問題や地域行事等について様々御尽力されてきたとのことでした。

→ありがとうございます。こういったお話などを、もっとじっくり伺いたいのですが、本日は時間の事もあるので、進め方に関してのご意見があるかないか、提案の決議をとっていただきたいです。(会長)

→今回示した形で 1 年間検討を進めていくことについて、挙手にて承認

8. 副校長挨拶

今年度、小平六中から異動して参りました副校長です。3 月まで、3 年生の担任をして、英語を教えていました。副校長としては「1 年生」ですので、まだまだ至らない点もあるかと思いますが、とにかく真正面から子どもたちと、保護者の方々と、そして地域の皆様と向き合っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

PTA 活動には、これまでとは違った立場で関わらせていただいておりますが、保護者の方々の教育活動への

ご協力に、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。保護者、地域、教職員が同じ方向を向いて、子どもたちと関わり、皆で成長していくことが、教育においては最も大切だと思います。

会長からの提言は、非常にインパクトの強い提言だと思います。校長と着任早々この話を頂いて、どうなっていくのだろうと、正直思いました。ただ、会長と日々かかわっていく中で、この人は本気で考えているんだなと、感じてきています。おそらく、早かれ遅かれこの流れは世の中全体にやってくるのかな、そうであれば、今回は良いきっかけなのかな、と校長とも話しております。先ほどの提言がすべて、そうなるとは思いません。これで本当にいいの？という点が出てくると思います。それらの点をじっくり討議して新しい五中に向けて活動できていければ良いと思っております。今後とも五中の PTA 活動にご理解とご協力をいただければ幸いです。

9. 本部会計より

先日、各委員会の委員長、サークル長、会計さんに、活動費の受け渡し方法をお示しました。今年度は活動費を先にお渡しせず、その都度かかった費用を精算することとなっております。支出購入申請書、収支報告書について、用紙をご希望の方はお渡ししますので本部会計までご連絡ください。レシート、領収書等の原本は本部にて 1 年間保存し、処分することとします。

予算は会員の皆様からお預かりした大切なお金です。昨年度より予算削減に向けて取り組んでおります。今年度も引き続き取り組んでまいりたいと思いますので、計画的に購入していただけますようお願い申し上げます。また、備品等、本部で購入して欲しいものがありましたらお知らせください。

10. その他について(本部 会長から)

- ・学校の掲示板は地域教育コーディネーターさんとともに使わせていただいております。何か各委員会から子どもたちにも知らせたいこと等あれば、ぜひ活用していただきたいと思っております。前向きな取り組み募集中です。
- ・LINE WORKS 内の掲示板についても、閲覧者は役員に限りませんが、必要に応じて活用してもらいたいと思います。内容については一旦本部にご連絡を頂きたいです。
- ・今年度の予算委員会 1 月 24 日、私は都合により欠席が確定してしまっているため、副会長 2 人を代理出席として認めていただきたい。

→賛成多数により可決

本年度の予算委員会は会長出席不可のため、代理で副会長が出席予定。

11. ご連絡

- ・第 2 回運営委員会は令和 4 年 10 月 11 日(火)です。
- ・本日示された活動予定を踏まえて、各活動にご参加ください。

以上